

# 教育委員会事務点検・評価報告書

（令和6年度事務事業対象）

令和7年8月

呉市教育委員会

# 目 次

## I はじめに

|                   |   |
|-------------------|---|
| 1 点検及び評価の趣旨 ..... | 1 |
| 2 呉市教育委員会の点検及び評価  |   |
| (1) 手順 .....      | 2 |
| (2) 対象 .....      | 2 |
| (3) 方法等 .....     | 2 |
| (4) 知見の活用 .....   | 2 |

## II 呉市教育委員会の概要

|                     |   |
|---------------------|---|
| 1 教育委員会教育長 .....    | 3 |
| 2 教育委員会委員 .....     | 3 |
| 3 教育委員会会議           |   |
| (1) 令和6年度議決事項 ..... | 3 |
| (2) 令和6年度報告事項 ..... | 5 |
| 4 研修会等への参加状況        |   |
| (1) 会議・研修会 .....    | 6 |
| (2) 行事等 .....       | 6 |

## III 点検及び評価の結果

|                           |   |
|---------------------------|---|
| 1 呉市教育振興計画における施策の体系 ..... | 7 |
| 2 令和6年度評価項目 .....         | 8 |
| (令和7年度点検・評価シート)           |   |

## IV 学識経験者の意見

|                                       |     |
|---------------------------------------|-----|
| 1 概要 .....                            | 2 6 |
| 2 聴取した意見                              |     |
| (1) 「基本施策1 義務教育の充実」に関する意見 .....       | 2 6 |
| (2) 「基本施策2 高等学校教育の充実」に関する意見 .....     | 2 8 |
| (3) 「基本施策3 安全・安心な教育環境の充実」に関する意見 ..... | 2 8 |
| (4) 点検及び評価全般に関する意見 .....              | 2 9 |

# I はじめに

## 1 点検及び評価の趣旨

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）」が改正され、平成20年度から、教育委員会は毎年度、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、市民に公表することが義務付けられました。

本報告書は、令和6年度の呉市教育委員会に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行った結果を、教育に関し学識経験を有する者の意見を付して、報告するものです。

### 【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

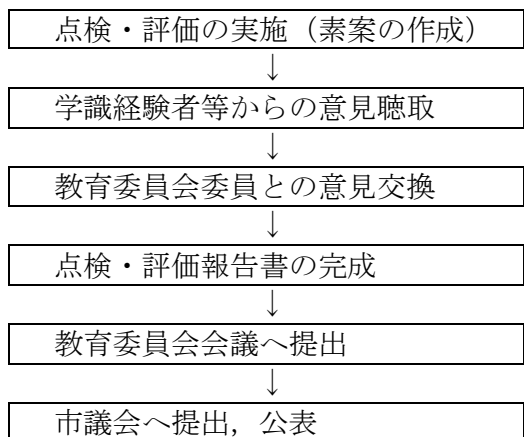
第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 2 呉市教育委員会の点検及び評価

### (1) 手順

令和6年度に呉市教育委員会において執行した事務事業について、次の手順で点検及び評価を行いました。



### (2) 対象

令和4年3月に策定した呉市教育振興基本計画（以下「計画」といいます。）を基に、「義務教育の充実」「高等学校教育の充実」「安全・安心な教育環境の充実」の各分野において重視すべき項目（数値化が可能なもの）を抽出し評価対象としました。

### (3) 方法等

対象項目ごとの取組状況について成果と課題を分析し、今後の取組の方向性を明らかにしました。

点検及び評価は、計画の進行管理も兼ねており、この結果を今後の施策の推進や改善に反映することで、より着実に計画を進行させることができるよう活用することとしています。

進捗状況については、「おおむね想定どおり進捗している」と評価できるものを○、「課題が見える」と考えるものを△として整理しています。

### (4) 知見の活用

点検及び評価の客観性を確保するため、次の3名の学識経験者等の方から意見聴取を行いました（26ページ以降に掲載）。

| 氏 名                 | 役 職 等           |
|---------------------|-----------------|
| あさ くら あつし<br>朝 倉 淳  | 広島大学名誉教授        |
| こ まつ あや<br>小 松 綾    | 呉市P T A連合会副会長   |
| ふる え ゆきえ<br>古 江 由紀枝 | 呉市民生委員児童委員協議会会長 |

（五十音順）

## Ⅱ 呉市教育委員会の概要

### 1 教育委員会教育長

(令和7年4月1日現在)

| 職 名   | 氏 名                   | 任 期                | 備 考 |
|-------|-----------------------|--------------------|-----|
| 教 育 長 | てらもと あり のぶ<br>寺 本 有 伸 | 令和6.4.1 ～ 令和9.3.31 |     |

### 2 教育委員会委員

(令和7年4月1日現在)

| 職 名               | 氏 名                     | 任 期                  | 備 考      |
|-------------------|-------------------------|----------------------|----------|
| 委 員<br>(教育長職務代理者) | さ さ き はじめ<br>佐々木 元      | 令和3.9.26 ～ 令和7.9.25  | 歯 科 医 師  |
| 委 員               | おお の き こひょうえ<br>大之木 小兵衛 | 令和6.3.27 ～ 令和10.3.26 | 会 社 社 長  |
| 委 員               | わか の ふみ え<br>若 野 文 江    | 令和7.4.1 ～ 令和9.3.31   | 認定こども園園長 |
| 委 員               | ふじ わき ま み<br>藤 脇 真 美    | 令和7.4.1 ～ 令和11.3.31  | 保護者代表    |

### 3 教育委員会会議

「呉市教育委員会会議規則（平成5年呉市教育委員会規則第9号）」において、定例会を毎月1回、必要がある場合には臨時会を開催することを定めています。

令和6年度においては、定例会を12回、臨時会を3回、それぞれ開催しました。

#### (1) 令和6年度議決事項（※：市長へ意見申出）

| 提案年月日       | 番号 | 件 名                                              |
|-------------|----|--------------------------------------------------|
| 令和 6年 4月26日 | 20 | 呉市立呉高等学校管理規則の一部を改正する規則の制定について                    |
|             | 21 | 呉市立学校教職員服務規程の一部を改正する訓令の制定について                    |
|             | 22 | 呉市教育委員会職名及び辞令式規則の一部を改正する規則の制定について                |
|             | 23 | 呉市立呉高等学校教職員の人事評価に関する訓令の一部を改正する訓令の制定について          |
| 令和 6年 5月30日 | 24 | 請願書について                                          |
|             | 25 | 請願書について                                          |
|             | 26 | 令和7年度に呉市立小学校、中学校及び義務教育学校で使用する教科用図書の採択に係る基本方針について |
|             | 27 | 令和7年度に呉市立呉高等学校で使用する教科用図書の採択に係る                   |

|                          |    |                                          |
|--------------------------|----|------------------------------------------|
|                          |    | る基本方針について                                |
|                          | 28 | 令和 7 年度からの中学校給食の提供方法について                 |
|                          | 29 | 呉市立美術館運営審議会委員の委嘱について                     |
|                          | 30 | 臨時代理の承認について（令和 6 年度教育費補正予算）※             |
| 令和 6 年 6 月 28 日          | 31 | 呉市立呉高等学校時間講師任用規則の一部を改正する規則の制定について        |
|                          | 32 | 令和 7 年度呉市立呉高等学校入学者選抜の基本方針について            |
|                          | 33 | 令和 7 年度呉市立呉高等学校の入学者定員について                |
|                          | 34 | 呉市立小学校，中学校及び義務教育学校通学区域審議会委員の委嘱又は任命について   |
|                          | 35 | 呉市いじめ問題等調査委員会委員の委嘱について                   |
|                          | 36 | 呉市社会教育委員の委嘱について                          |
|                          | 37 | 呉市立図書館協議会委員の委嘱について                       |
| 令和 6 年 7 月 26 日          | 38 | 「教育委員会事務点検・評価（令和 5 年度事務事業対象）」に係る意見交換について |
|                          | 39 | 呉市教育振興基本計画の見直しに係る意見交換について                |
|                          | 40 | 臨時代理の承認について（教職員人事）                       |
| 令和 6 年 8 月 21 日          | 41 | 呉市教育振興基本計画の見直しについて                       |
|                          | 42 | 令和 7 年度教職員人事異動に係る呉市教育委員会の方針について          |
|                          | 43 | 臨時代理の承認について（令和 6 年度教育費補正予算）※             |
|                          | 44 | 「教育委員会事務点検・評価報告書（令和 5 年度事務事業対象）」について     |
| 令和 6 年 8 月 23 日<br>（臨時会） | 45 | 令和 7 年度使用教科用図書（呉市立呉高等学校）の採択について          |
|                          | 46 | 令和 7 年度使用教科用図書（義務教育諸学校特別支援学級用）の採択について    |
|                          | 47 | 令和 7 年度使用教科用図書（中学校・義務教育学校（後期課程））の採択について  |
| 令和 6 年 9 月 26 日          | 48 | 呉市外国語指導助手任用規則の一部を改正する規則の制定について           |
| 令和 6 年 10 月 25 日         | 49 | 職員人事について                                 |
| 令和 6 年 11 月 22 日         | 50 | 臨時代理の承認について（令和 6 年度教育費補正予算）※             |
|                          | 51 | 臨時代理の承認について（契約の変更）※                      |
|                          | 52 | 臨時代理の承認について（公の施設の指定管理者の指定について）※          |
| 令和 6 年 12 月 26 日         | 53 | 請願書について                                  |
|                          | 54 | 臨時代理の承認について（令和 7 年度教育費予算）※               |
| 令和 7 年 1 月 8 日<br>（臨時会）  | 1  | 令和 7 年度教育費予算復活要求について※                    |

|                      |                            |                                                                                                             |
|----------------------|----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 令和 7年 1月24日          | 2<br>3<br>4                | 令和 7 年度「呉の学校教育」について<br>臨時代理の承認について（令和 7 年度教育費予算復活要求）※<br>呉市社会教育委員の委嘱について                                    |
| 令和 7年 2月26日          | 5<br>6<br>7                | 学校施設等の建設計画について<br>呉市外国語指導助手任用規則の一部を改正する規則の制定について<br>臨時代理の承認について（令和 6 年度教育費補正予算）※                            |
| 令和 7年 3月10日<br>（臨時会） | 8<br>9                     | 教職員人事について<br>呉市教育委員会委員の辞職の同意について                                                                            |
| 令和 7年 3月25日          | 10<br>11<br>12<br>13<br>14 | 呉市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則の制定について<br>呉市教育委員会文書取扱規程の制定について<br>学校運営協議会の設置について<br>職員人事について<br>臨時代理の承認について（教職員人事） |

## (2) 令和 6 年度報告事項

| 報告年月日       | 番号                                    | 件 名                                                                                                                                                                                                                                           |
|-------------|---------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 令和 6年 5月30日 | 9<br>10<br>11<br>12<br>13<br>14<br>15 | 呉市いじめ防止基本方針について<br>令和 7 年度使用教科用図書（中学校・義務教育学校（後期課程））の採択手続について<br>令和 7 年度使用教科用図書（中学校・義務教育学校（後期課程））採択のための調査・研究要項について<br>令和 7 年度使用教科用図書（義務教育諸学校特別支援学級用）の採択手続について<br>令和 7 年度使用教科用図書（呉市立呉高等学校）の採択手続について<br>令和 6 年度学校別児童・生徒数等について<br>広島県に対する提案事項について |
| 令和 6年 6月28日 | 16<br>17<br>18                        | 呉市立小・中・義務教育学校施設の耐震化の状況について<br>令和 5 年度学校安全の状況について<br>令和 6 年度教育費補正予算について                                                                                                                                                                        |
| 令和 6年 7月26日 | 19<br>20<br>21<br>22<br>23            | 寄附受納について<br>寄附受納について<br>寄附受納について<br>寄附受納について<br>野呂山再整備基本構想策定業務について                                                                                                                                                                            |
| 令和 6年 8月21日 | 24                                    | 寄附受納について                                                                                                                                                                                                                                      |

|                      |    |                                    |
|----------------------|----|------------------------------------|
| 令和 6年 9月26日          | 25 | 寄附受納について                           |
|                      | 26 | 令和 6 年度教育費補正予算について                 |
| 令和 6年10月25日          | 27 | 令和 5 年度定期監査の結果改善又は検討を要望する事項の措置について |
|                      | 28 | 寄附受納について                           |
|                      | 29 | 民事訴訟の応訴について                        |
| 令和 6年11月22日          | 30 | 寄附受納について                           |
|                      | 31 | 民事訴訟の結果について                        |
| 令和 6年12月26日          | 32 | 令和 5 年度生徒指導上の諸課題の状況について            |
|                      | 33 | 呉市立呉高等学校の令和 7 年度入学者選抜実施要項について      |
|                      | 34 | 令和 6 年度教育費補正予算について                 |
| 令和 7年 1月 8日<br>(臨時会) | 1  | 令和 7 年度教育費予算について                   |
| 令和 7年 1月24日          | 2  | 寄附受納について                           |
|                      | 3  | 令和 7 年度教育費予算復活要求について               |
|                      | 4  | 音戸学校給食共同調理場建設に係る計画内容の変更について        |
| 令和 7年 2月26日          | 5  | 令和 7 年度「呉の学校教育」について                |
| 令和 7年 3月25日          | 6  | 寄附受納について                           |
|                      | 7  | 呉市立美術館あり方検討委員会まとめについて              |
|                      | 8  | 令和 6 年度教育費補正予算について                 |

#### 4 研修会等への参加状況

##### (1) 会議・研修会

| 時 期      | 名 称                   | 概 要       |
|----------|-----------------------|-----------|
| 令和 6年 6月 | 市町村教育委員会研究協議会（前期）     | 委員 2 名が出席 |
| 令和 6年 7月 | 広島県女性教育委員グループ第 1 回研修会 | 委員 2 名が出席 |
| 令和 6年11月 | 広島県女性教育委員グループ第 2 回研修会 | 委員 2 名が出席 |

##### (2) 行事等

| 時 期      | 概 要            |
|----------|----------------|
| 令和 6年 4月 | 呉市立呉高等学校入学式に出席 |
| 令和 6年 5月 | 呉市立学校合同校長会に出席  |
| 令和 7年 3月 | 呉市立学校卒業式に出席    |

### Ⅲ 点検及び評価の結果

#### 1 呉市教育振興基本計画における施策の体系

##### 基本施策1 義務教育の充実

施策1 幼児教育の充実

施策2 小中一貫教育を基盤とした「つながり」を重視する教育の推進

施策3 特別支援教育の推進

施策4 ICTを活用した教育の推進

施策5 英語教育の推進

施策6 豊かな心と体を育てる体験活動の充実

施策7 読書活動の推進

施策8 教職員・組織の活性化

##### 基本施策2 高等学校教育の充実

施策9 総合学科の特色を生かした教育の推進

施策10 自立と社会貢献への意識を育てる教育の推進

##### 基本施策3 安全・安心な教育環境の充実

施策11 安全・安心で快適な環境整備

施策12 就学等への支援

施策13 いじめなどの問題行動や不登校への取組

施策14 防災教育の推進

## 2 令和6年度評価項目

### 基本施策1 義務教育の充実

|   | 目標指標                                                                                                           | ページ | 担 当   |       |
|---|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|-------|
| 1 | 全国学力・学習状況調査結果（全国平均値との差）<br>〈全国学力・学習状況調査〉                                                                       | 10  | 学校教育課 |       |
| 2 | ①将来の夢や目標を持っている児童・生徒の割合<br>〈全国学力・学習状況調査〉                                                                        | 11  |       |       |
|   | ②地域や社会をよくするために何かしてみたいと思っている児童・生徒の割合<br>〈全国学力・学習状況調査〉                                                           |     |       |       |
| 3 | ①授業でタブレット端末を活用することができる教職員の割合<br>〈タブレット端末の使用状況調査及びアンケート調査〉                                                      | 12  |       |       |
|   | ②タブレット端末を活用するのは勉強に役立つと考える児童・生徒の割合<br>〈全国学力・学習状況調査〉                                                             |     |       |       |
| 4 | 自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合うことのできる児童・生徒の割合<br>〈呉市「英語の授業アンケート」調査〉                                                        | 13  |       |       |
| 5 | ①自分にはよいところがあると思っている児童・生徒の割合<br>〈全国学力・学習状況調査〉                                                                   | 14  |       |       |
|   | ②学校に行くのは楽しいと思う児童・生徒の割合<br>〈全国学力・学習状況調査〉                                                                        |     |       |       |
| 6 | 運動やスポーツが好きな児童・生徒の割合<br>〈全国体力・運動能力、運動習慣調査〉                                                                      | 15  |       | 学校安全課 |
| 7 | ①1か月の間に本を1冊も読んでいない児童・生徒の割合<br>〈広島県児童生徒学習意識等調査〉                                                                 | 16  |       | 学校教育課 |
|   | ②興味・関心があることや学習に関することを、本や資料を活用して調べている児童・生徒の割合<br>〈広島県児童生徒学習意識等調査〉                                               |     |       |       |
|   | ③(小)本を読んで、知りたいことが分かったり、自分の考えを広げたりすることがある児童の割合<br>(中)本を読んで、自分の生き方や社会との関わり方について考えることがある生徒の割合<br>〈広島県児童生徒学習意識等調査〉 |     |       |       |
| 8 | 日々の業務の中で充実感を得られていると感じる教職員の割合<br>〈学校の業務改善に係るアンケート調査〉                                                            | 17  | 学校安全課 |       |
| 9 | ①特別な支援が必要な全ての児童・生徒に「個別的教育支援計画」を作成している学校の割合<br>〈特別支援教育に係る児童生徒の実態調査〉                                             | 18  |       |       |
|   | ②特別な支援が必要な全ての児童・生徒に「個別の指導計画」を作成している学校の割合<br>〈特別支援教育に係る児童生徒の実態調査〉                                               |     |       |       |

## 基本施策2 高等学校教育の充実

|   | 目標指標                                           | ページ | 担 当   |
|---|------------------------------------------------|-----|-------|
| 1 | 呉高等学校に行かせてよかったと感じている保護者の割合<br>〈学校評価（学年末）アンケート〉 | 19  | 呉高等学校 |
| 2 | 年間1回以上ボランティア活動に参加した呉高等学校生徒の割合<br>〈学校評価年度末結果〉   | 20  |       |

## 基本施策3 安全・安心な教育環境の充実

|   | 目標指標                                                                                                                   | ページ | 担 当   |
|---|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|
| 1 | 小・中学校トイレの洋式化率<br>〈公立学校施設のトイレ状況調査〉                                                                                      | 21  | 学校施設課 |
| 2 | 不審者情報を基に児童・生徒へ安全指導を実施した学校の割合<br>〈学校安全に関する取組状況調査〉                                                                       | 22  | 学校安全課 |
| 3 | 不登校児童・生徒の割合<br>〈児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査〉                                                                         | 23  |       |
| 4 | 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる児童・生徒の割合<br>〈全国学力・学習状況調査〉                                                             | 24  |       |
| 5 | ①自分が住む地域に起こりやすい災害について理解している児童・生徒の割合<br>〈「呉市学校防災週間」取組内容調査〉<br>②災害時に避難する場所や避難の仕方について理解している児童・生徒の割合<br>〈「呉市学校防災週間」取組内容調査〉 | 25  |       |

全16項目について点検及び評価を実施しました。

次ページからの点検・評価シート内において、特に説明がない限り、「小学校」には「義務教育学校前期課程」を、「中学校」には「義務教育学校後期課程」を、それぞれ含めます。これに伴い、義務教育学校の7年生、8年生、9年生は、それぞれ中学校の1年生、2年生、3年生となります。

## 基本施策 1 義務教育の充実

| 教育振興基本計画の目標指標                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                          |                                          |                                          |     | 目標値（R 8）                                     |    |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------|------------------------------------------|------------------------------------------|-----|----------------------------------------------|----|
| 全国学力・学習状況調査結果（全国平均値との差）<br>＜R 6 全国平均正答率＞<br>小 6 国 67.7% 中 3 国 58.1%<br>小 6 算 63.4% 中 3 数 52.5%<br>〈全国学力・学習状況調査 令和 6 年 4 月実施〉 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                          |                                          |                                          |     | 小 国語 6.0<br>中 国語 5.0<br>小 算数 5.0<br>中 数学 5.0 |    |
| 評価値                                                                                                                          | 基準年<br>R 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | R 4                                      | R 5                                      | R 6                                      | R 7 | R 8                                          | 進捗 |
|                                                                                                                              | 小 国 4.3<br>中 国▲0.6<br>小 算 0.8<br>中 数▲1.2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 小 国 4.4<br>中 国 0.0<br>小 算 0.8<br>中 数▲1.4 | 小 国 3.8<br>中 国 1.2<br>小 算 1.5<br>中 数▲1.0 | 小 国 4.3<br>中 国▲0.1<br>小 算 2.6<br>中 数▲1.5 | —   | —                                            | △  |
| 施策の概要                                                                                                                        | 「未来を創る人材の育成」を目指し、「主体的・対話的で深い学び」を通して、新しい時代に必要な資質・能力を育成するために、これまで進めてきた小中一貫教育の取組を基盤とし、「目指す姿」「異年齢や学校段階等間」「家庭、地域社会」「地域の人・もの・こと」の四つの“つながり”を重視し、児童・生徒の主体的な学びにつながる授業改善に取り組む。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                          |                                          |                                          |     |                                              |    |
| 取組状況                                                                                                                         | 令和 6 年 4 月に実施された全国学力・学習状況調査の調査結果(以下「学力調査の結果」という。)を受け、次のような取組を行った。<br>1 各教科の結果を分析し、課題改善のための方策を呉市ホームページで公表<br>2 校長会・教頭会での管理職研修の実施<br>3 指導方法等に係る改善計画シート(全小・中・義務教育学校が作成)に基づいた取組の実施、教育委員会事務局指導主事(以下「指導主事」という。)による学校訪問において、各校の指導方法等の改善計画を踏まえた指導・助言                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                          |                                          |                                          |     |                                              |    |
| 成果・課題                                                                                                                        | 各校においては、改善計画シートを作成することで、学力調査の結果を基にした授業改善の方策策定・取組の実施・検証に、見通しを持って取り組むことができるようにした。それにより、シートを基に調査結果を分析、自校の課題を明確にし、授業改善のポイントを焦点化した上で計画的に取り組む、検証するという、各校の授業改善サイクルを確立することができた。<br>また、校長会・教頭会で、「学力向上に向けた授業改善の取組について」の研修を行い、校内の授業改善を進めるための各校の取組や管理職としての働きかけについて交流することにより、管理職の意識付けや各校での取組の推進につなげることができた。<br>さらに、令和 6 年度リーフレット「呉の学校教育」において、授業づくりの見直しポイントや「全てのこどもが『分かる・できる』ための工夫例」を示し、管理職研修や指導主事の訪問指導の場で活用することにより、授業改善に対する教職員の意識の向上を図ることができた。<br>学力調査の結果から、特に、目的に応じて必要な情報に着目して文章を読む力や与えられたデータを活用して考察したり説明したりする力に課題があることが明らかになっており、引き続き、授業改善及び学力向上に向けた具体的な手立ての充実を図る必要がある。 |                                          |                                          |                                          |     |                                              |    |
| 今後の取組                                                                                                                        | 令和 7 年度リーフレット「呉の学校教育」において、こどもの主体的な学びを実現するため、「こどもの問いが生きる『考える授業づくり』」の 2 つの柱として、「学びの過程」「授業者のファシリテーション」を示し、教職員研修会や指導主事の訪問指導はもとより、授業改善に向けた各校での日々の取組においても活用を促していく。<br>特に、課題である中学校数学における「関数」領域及び「図形」領域については、生徒が身の回りの事象と関連付けて捉えたり考えを深めたりすることに重点を置き、呉市立中学校教育研究会数学科部会において、継続的に指導・助言を行う。<br>また、令和 6 年 8 月から本格導入している A I 型デジタルドリル教材の活用促進を図るとともに、I C T を効果的に活用するなどして、個別最適な学びと協働的な学びを実現することで、新しい時代に必要な資質・能力の育成を目指す。                                                                                                                                                        |                                          |                                          |                                          |     |                                              |    |

【進捗：○…おおむね想定どおり進捗している項目 △…進捗上、課題の見える項目】

## 基本施策 1 義務教育の充実

| 教育振興基本計画の目標指標                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                            |                                            |                                            |     | 目標値（R 8）                                     |    |
|-----------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|--------------------------------------------|--------------------------------------------|-----|----------------------------------------------|----|
| ①将来の夢や目標を持っている児童・生徒の割合<br>②地域や社会をよくするために何かしてみたいと思っている児童・生徒の割合<br>〈全国学力・学習状況調査 令和6年4月実施〉 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                            |                                            |                                            |     | ① 小 90.0%<br>中 85.0%<br>② 小 90.0%<br>中 80.0% |    |
| 評価値                                                                                     | 基準年<br>R 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | R 4                                        | R 5                                        | R 6                                        | R 7 | R 8                                          | 進捗 |
|                                                                                         | ①小 85.0%<br>中 76.2%<br>②小 57.5%<br>中 54.9%                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | ①小 83.0%<br>中 77.8%<br>②小 54.2%<br>中 47.9% | ①小 87.2%<br>中 72.8%<br>②小 83.5%<br>中 73.5% | ①小 88.2%<br>中 73.1%<br>②小 89.2%<br>中 79.9% | —   | —                                            | ○  |
| 施策の概要                                                                                   | 新しい時代に必要な資質・能力を育成するために、小中一貫教育を基盤とした「つながり」を重視する教育活動を展開する。その際、教職員以外の専門スタッフ、地域の素材や学習環境といった、地域や市内外の高等教育機関等との「人・もの・こと」を効果的に活用し、児童・生徒の心を動かす体験活動を充実させ、教育活動の質の向上を図る。                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                            |                                            |                                            |     |                                              |    |
| 取組状況                                                                                    | 1 キャリア・ログの活用（小学校1年生から中学校3年生までの全児童・生徒対象）<br>児童・生徒の活動を各学年1枚のシートに記録させ、ポートフォリオ（紙挟み）で蓄積して、それを学年間・学校間で引き継いでいくことで、児童・生徒自身が必要に応じて振り返り、将来の生き方を考えることができるようにした。<br>2 呉市キャリア・スタート・ウィーク（令和6年8月20日～22日）<br>全中学校の2年生約1,600人が市内約530か所の事業所において職場体験に参加<br>3 わがまち人材派遣事業<br>地域人材等を講師として招き、専門的な指導を取り入れた授業を実施<br>・神楽や落語等伝統文化の指導<br>・地域の特性を生かした栽培指導 など（小学校125回、中学校42回）<br>4 ものづくり体験事業<br>地元の企業や教育機関の技術専門家を講師として招き、「ものづくり」体験の出前講座を実施（中学校1年生対象、中学校11校で実施）                        |                                            |                                            |                                            |     |                                              |    |
| 成果・課題                                                                                   | 「呉市キャリア・スタート・ウィーク」の事後アンケートでは、「自分から役割や仕事を見つけたり、分担したりしながら、周囲と力を合わせて行動しようとしています」の項目で94.8%、「自分の将来について具体的な目標をたて、その実現のための方法について考えています」の項目で77.1%の肯定的な回答が見られた。また、「わがまち人材派遣事業」及び「ものづくり体験事業」では、児童・生徒の体験活動を充実することができた。<br>また、「わがまち人材派遣事業」や「ものづくり体験事業」に加え、地域や家庭を巻き込んだ避難訓練を実施したり、総合的な学習の時間の中で地域の題材を教材化したりするなど、「地域の人・もの・こと」とのつながりを重視した取組を充実させた。<br>そうした取組により、いずれの評価値についても前年度を上回ることができた。<br>引き続き、「地域の人・もの・こと」とのつながりを重視した取組の工夫・充実を図るとともに、9年間を見通した「キャリア・ログ」の活用を進める必要がある。 |                                            |                                            |                                            |     |                                              |    |
| 今後の取組                                                                                   | 職場体験を生徒の主体的な学びの場にするために、各校の事前指導や事後指導を充実させるための研修（各校の実践交流、教育委員会事務局からの好事例紹介等）を実施し、年間を通した指導の充実を図るための指導・助言を行う。<br>教職員研修会や指導主事の訪問指導において、児童・生徒が地域や社会に対して課題意識を持って学習に取り組むことのできる総合的な学習の時間等の単元構想の在り方について指導・助言することにより、各校のカリキュラム・マネジメント※1を推進するとともに、「キャリア・ログ」の効果的な活用についても指導・助言する。<br>また、地元企業による出前授業等についても、企業等と連携しながら学校への情報発信を積極的に行い、活用を促す。<br>さらに、令和7年度から全市で導入するコミュニティ・スクール※2を活用し、学校運営に地域の声を積極的に生かしながら、「人・もの・こと」を効果的に活用し、体験活動のさらなる充実を図る。                               |                                            |                                            |                                            |     |                                              |    |

【進捗：○…おおむね想定どおり進捗している項目 △…進捗上、課題の見える項目】

※1 カリキュラム・マネジメント：「社会に開かれた教育課程」の理念の実現に向けて、学校教育に関わる様々な取組を、教育課程を中心に据えながら、組織的かつ計画的に実施し、教育活動の質の向上につなげていくこと

※2 コミュニティ・スクール：学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組み

## 基本施策 1 義務教育の充実

| 教育振興基本計画の目標指標                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                |                                |                                |     | 目標値（R 8）  |    |
|-------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|-----|-----------|----|
| ①授業でタブレット端末を活用することができる教職員の割合                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                |                                |                                |     | ① 100.0%  |    |
| ②タブレット端末を活用するのは勉強に役立つと考える児童・生徒の割合※ <sup>3</sup> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                |                                |                                |     | ② 小 96.0% |    |
| 〈タブレット端末のアンケート調査及び使用状況調査 令和7年2月実施〉              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                |                                |                                |     | 中 96.0%   |    |
|                                                 | 基準年<br>R 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | R 4                            | R 5                            | R 6                            | R 7 | R 8       | 進捗 |
| 評価値                                             | ① 87.9%<br>②小 94.9%<br>中 94.3%                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | ① 94.4%<br>②小 95.2%<br>中 93.5% | ① 96.0%<br>②小 97.2%<br>中 95.4% | ① 97.3%<br>②小 97.7%<br>中 97.6% | —   | —         | ○  |
| 施策の概要                                           | G I G Aスクール構想※ <sup>4</sup> の実現に向け、一人1台端末を活用した教育の推進を図る。これにより、情報活用能力を社会で活用できる児童・生徒を育成する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                |                                |                                |     |           |    |
| 取組状況                                            | 1 教職員研修の実施（全26回）<br>(1) I C T研修<br>ア A I型デジタルドリル研修（9回、希望校教職員対象）<br>イ 情報モラル研修（1回、全初任者及び希望教職員対象）<br>(2) I C T教育推進リーダー研修（2回、各校代表教職員対象）<br>(3) 校長会、教頭会における研修（14回、各校管理職対象）<br>2 I C T支援員の派遣（希望校に対して派遣、小：320回 中：278回）<br>3 A I型デジタルドリル教材の全校導入（令和6年8月運用開始）<br>4 「G I G A通信」の発行による学校への情報提供（全12回）<br>5 効果的な事例を参考にした、「授業支援アプリ」及びA I型デジタルドリル教材の授業、家庭学習等での活用の推進<br>6 児童・生徒の健康への配慮に係る指導の継続及び情報モラル教育の充実                                                                                                                                                                                                            |                                |                                |                                |     |           |    |
| 成果・課題                                           | 令和6年度は、学校間・教職員間の活用格差を埋めるため、A I型デジタルドリル教材の活用を中心とした「組織的な教育データの利活用」の促進に向けて、取組を進めた。具体的には、タブレット端末活用に係る研修や情報発信、I C T支援員の派遣による教職員への支援等や、管理職に対する研修を充実したことにより、目標指標①及び②の評価値がともに前年度を上回った。授業や家庭学習等においてA I型デジタルドリルをはじめとするタブレット端末の積極的な活用が進んでおり、全体的に進捗は順調であると考えられる。<br>今後も、タブレット端末のより効果的な活用の在り方を研究し、授業改善につなげるとともに、A I型デジタルドリル教材等の活用によって蓄積された児童・生徒の教育データを教職員が利活用し、児童・生徒への学習支援につなげること、また、それらを学校全体で組織的に進めるための仕組みづくりを充実することが必要である。<br>また、タブレット端末の更なる活用促進に向けて、児童・生徒にはタブレット端末を使って学ぶことの効果を、教職員にはタブレット端末を使うことによる業務効率化の効果を、それぞれ実感させることが必要である。<br>さらに、児童・生徒の健康への配慮に係る指導及び情報モラル教育についても、管理職研修やI C T教育推進リーダー研修等において、継続して行う必要がある。 |                                |                                |                                |     |           |    |
| 今後の取組                                           | 教職員のタブレット端末活用能力、とりわけ教育データの利活用能力の向上に向けた取組を、令和7年1月から委嘱している呉市I C T教育推進アドバイザー（奈良教育大学大学院 小崎誠二教授）の助言を受けながら充実し、学力の定着を図る。具体的には、I C T教育推進リーダー研修等において、A I型デジタルドリル教材等に蓄積された教育データの利活用の方法や組織的な取組を進めるための方策を中心とした研修を実施する。また、指導主事等による訪問指導を実施し、学校の実態に応じた支援を行うとともに、「G I G A通信」を発行し、タブレット端末の活用好事例を発信する。あわせて、児童・生徒の健康への配慮に係る指導及び情報モラル教育についても、引き続き充実を図る。                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                |                                |                                |     |           |    |

【進捗：○…おおむね想定どおり進捗している項目 △…進捗上、課題の見える項目】

※<sup>3</sup> 令和6年度に行われた全国学力・学習状況調査に当該調査項目がなかったため、令和7年2月に実施したタブレット端末のアンケート調査及び使用状況調査の結果を評価値としている。

※<sup>4</sup> G I G Aスクール構想：一人1台のP C端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することにより、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化された創造性を育む学びを全国の学校で実現しようとする国の構想

## 基本施策 1 義務教育の充実

|                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                    |                    |                    |     |                    |    |
|-----------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|--------------------|--------------------|-----|--------------------|----|
| 教育振興基本計画の目標指標                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                    |                    |                    |     | 目標値（R 8）           |    |
| 自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合うことのできる児童・生徒の割合 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                    |                    |                    |     | 小 80.0%<br>中 75.0% |    |
| 〈呉市「英語の授業アンケート」調査 令和6年9月実施〉       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                    |                    |                    |     |                    |    |
| 評 価 値                             | 基準年<br>R 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | R 4                | R 5                | R 6                | R 7 | R 8                | 進捗 |
|                                   | 小 77.5%<br>中 70.7%                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 小 82.5%<br>中 78.8% | 小 87.0%<br>中 78.4% | 小 84.6%<br>中 74.9% | —   | —                  | ○  |
| 施策の概要                             | グローバル社会を主体的に生き抜くために必要な英語を用いたコミュニケーション能力を育成するとともに、異文化理解を深め、言語の違い等の多様性を受け入れ、国際的な視野を広げることができるよう、英語教育の充実を図る。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                    |                    |                    |     |                    |    |
| 取組状況                              | 1 外国語指導助手（以下「ALT」という。）及び加配講師への研修の実施<br>効果的なティーム・ティーチング※ <sup>5</sup> やコミュニケーション活動等、英語力向上のための指導方法についての研修を行った。<br>2 加配講師配置校への指導主事による訪問指導の実施<br>授業参観を行った後、より効果的な実践に向けて授業場面に基づく具体的な指導・助言を行った。<br>3 「イングリッシュデイ」の実施（8校、全7回）<br>複数のALTが指定小・中学校に集まり、児童・生徒と英語を使用したコミュニケーション活動を行ったり、自国の文化を紹介したりした。<br>4 オンライン英会話の実施（8校、全5回）<br>中学生数名とALTがグループとなり、オンラインで、既に学習した英語表現を使った即興の会話を行った。<br>5 呉市英語科指導力向上研修（全7回）<br>中学校の英語科教員から各校1名の受講者を選定し、オンライン形式による理論研修や、ブロック別で参集しての研究授業・研究協議を行い、「話すこと〔発表〕」領域を重点とした授業改善に取り組んだ。 |                    |                    |                    |     |                    |    |
| 成果・課題                             | 授業改善に向けて、呉市英語科指導力向上研修やALT及び加配講師への研修を充実するとともに、「イングリッシュデイ」やオンライン英会話など児童・生徒が英語を使って表現する場を設定したことより、評価値については概ね目標値を達成することができたが、前年度を下回る結果となった。<br>また、英語授業アンケート（令和6年9月実施）では、「原稿などの準備をすることなく、即興で自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合っている」、「スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表している」と回答した生徒の割合がいずれも6割程度であり、互いの考えや気持ちを伝え合う対話的な言語活動は十分とは言えない。<br>教員の英語科指導力向上のための研修の更なる充実を図り、授業における対話的な言語活動を充実することにより、児童・生徒の英語を用いたコミュニケーション力のさらなる向上を図る必要がある。                                                                                        |                    |                    |                    |     |                    |    |
| 今後の取組                             | 英語科指導力向上研修を継続し、生徒が英語で話す機会を増やすための言語活動の工夫に対する教員の意識を高め、授業改善を推進する。また、中学校教員による英語科の乗り入れ授業を行う中で、研修の成果を小学校にも普及し、児童が外国語によるコミュニケーションを通して自分の考えや気持ちを表現する言語活動の充実を図る。<br>また、児童・生徒が英語に触れる機会を増やすために、イングリッシュデイやオンライン英会話の対象校を拡充する。<br>さらに、広島県教育委員会とも連携し、児童・生徒の英語力向上のための事業や教職員研修等を積極的に活用していく。                                                                                                                                                                                                                     |                    |                    |                    |     |                    |    |

【進捗：○…おおむね想定どおり進捗している項目 △…進捗上、課題の見える項目】

※5 ティーム・ティーチング：複数の教職員が協力して行う指導

## 基本施策 1 義務教育の充実

| 教育振興基本計画の目標指標                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                            |                                            |                                            |     | 目標値（R 8）            |                     |
|---------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|--------------------------------------------|--------------------------------------------|-----|---------------------|---------------------|
| ①自分にはよいところがあると思っている児童・生徒の割合<br>②学校に行くのは楽しいと思う児童・生徒の割合<br>〈全国学力・学習状況調査 令和6年4月実施〉 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                            |                                            |                                            |     | ①小 85.0%<br>中 85.0% | ②小 90.0%<br>中 90.0% |
| 評価値                                                                             | 基準年<br>R 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | R 4                                        | R 5                                        | R 6                                        | R 7 | R 8                 | 進捗                  |
|                                                                                 | ①小 80.2%<br>中 80.9%<br>②小 82.8%<br>中 81.9%                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | ①小 81.7%<br>中 84.1%<br>②小 82.9%<br>中 83.4% | ①小 88.3%<br>中 83.7%<br>②小 88.1%<br>中 85.5% | ①小 86.7%<br>中 87.5%<br>②小 86.3%<br>中 85.3% | —   | —                   | ○                   |
| 施策の概要                                                                           | 小中一貫教育を基盤として、新しい時代に必要な資質・能力の育成に取り組む。とりわけ、学校生活の多くを占める授業を改善し、児童・生徒が自らの考えを発信したり、他者の考えに触れたりする活動を多く設定する。また、異年齢や学校段階等間のつながりを重視し、各中学校区※6の特色を生かした取組を充実させる。これらの取組により、自分のよいところに気付ける児童・生徒を育成するとともに、「学校に行くのは楽しい」と思う児童・生徒を増やす。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                            |                                            |                                            |     |                     |                     |
| 取組状況                                                                            | 1 リーフレット「呉の学校教育」を活用した授業改善の推進<br>自尊感情の向上に向けて、児童・生徒一人ひとりが授業の中で他者とつながり、認められるよう、リーフレット「呉の学校教育」において授業改善の指針となる「こどもの問いを生かした『考える授業づくり』」を示し、教職員の意識付けを行った。<br>2 小中一貫教育推進コーディネーター研修会の開催（年2回）<br>コーディネーターの役割や中学校区の課題を踏まえた授業改善、乗り入れ授業や異学年交流等の効果的な取組を進めるためのポイントについて研修を行い、各中学校区の取組の充実を図った。<br>3 「育ちと学びをつなぐ」幼保小連携・接続の充実事業の実施<br>幼保小連携担当者研修会を開催し（年3回）、カリキュラムの見直しや改善を図るとともに、保育所・幼稚園・認定こども園等と小学校の相互参観や交流行事の開催など、こどもの育ちを中心に据えた様々な活動の工夫を図った。<br>4 異学年交流活動や地域住民等との世代を越えた交流等の充実<br>地域の実態に応じた中高連携や、地域を巻き込んだ合同行事の開催など、小中一貫教育を基盤としながら、“つながり”を重視した取組の充実を図った。また、それらの活動等の好事例を「小中一貫教育だより」で紹介することにより、各中学校区の取組の工夫・改善につなげた。 |                                            |                                            |                                            |     |                     |                     |
| 成果・課題                                                                           | 令和6年4月に実施された調査の結果を受け、児童・生徒が自らの考えを表現したり、他者と意見交換したりする場を設定するなど、授業改善を進めた。また、小中一貫教育推進コーディネーターを中心に、これまで行ってきた小中一貫教育の取組を基盤としながら、育成したい児童・生徒の具体像を踏まえ、より効果的な取組となるよう見直しや改善を行った。さらに、幼保小連携や中高連携、地域住民等との“つながり”を重視した取組の充実を図った。いずれの評価値も概ね高く、取組の成果が現れているものと捉えている。<br>今後も、小中一貫教育を基盤としながら、異学年交流や地域住民等との交流等、学校や地域の実態に応じた取組を更に充実させ、児童・生徒の自尊感情の向上を図っていく必要がある。                                                                                                                                                                                                                                                     |                                            |                                            |                                            |     |                     |                     |
| 今後の取組                                                                           | 児童・生徒の自尊感情の向上に向けて授業改善や交流活動等の充実を図るとともに、「小中一貫教育だより」の発行等を通して、効果的な取組の普及・充実に努める。<br>また、令和7年度から全市展開するコミュニティ・スクールを活用し、“つながり”を重視した児童・生徒の体験的な活動の充実を図る。それにより、児童・生徒の意欲や主体性を喚起していく。<br>さらに、教室環境を整えたり、児童・生徒がお互い認め合う関係づくりを進めるなど、安全・安心な学校風土の醸成を基盤としながら、児童・生徒に対する教職員の肯定的な評価や声かけを日常的に行うことを通して、児童・生徒に達成感や満足感を味わわせ、児童・生徒が自分のよいところに気付いたり、「学校が楽しい」と実感したりする場面を増やしていく。                                                                                                                                                                                                                                            |                                            |                                            |                                            |     |                     |                     |

【進捗：○…おおむね想定どおり進捗している項目 △…進捗上、課題の見える項目】

※6 中学校区：中学校を中心として、呉市立小・中学校を地区ごとにまとめたグループ。一つの中学校と、その中学校を進学先とする小学校で構成される。

## 基本施策 1 義務教育の充実

| 教育振興基本計画の目標指標                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                    |                    |                    |        | 目標値（R 8）           |    |
|-------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------|--------------------|----|
| 運動やスポーツが好きな児童・生徒の割合<br>〈全国体力・運動能力，運動習慣調査 令和 6 年 4 月～ 7 月実施〉 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                    |                    |                    |        | 小 95.0%<br>中 85.0% |    |
| 評価値                                                         | 基準年<br>R 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | R 4                | R 5                | R 6                | R 7    | R 8                | 進捗 |
|                                                             | 小 88.3%<br>中 83.6%                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 小 91.8%<br>中 85.9% | 小 91.2%<br>中 84.8% | 小 91.4%<br>中 85.7% | —<br>— | —<br>—             | ○  |
| 施策の概要                                                       | 児童・生徒の運動意欲の向上，運動技能や技術の習得及び教職員の指導力の向上を図る。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                    |                    |                    |        |                    |    |
| 取組状況                                                        | <p>1 トップアスリート派遣事業<br/>トップアスリート等による体育授業（小学校 5 年生），中学校の運動部活動における指導を行った。<br/>※ 小学校 8 校，中学校部活動 3 競技に 7 団体延べ 29 名のトップアスリートを派遣（バレーボール・バスケットボール・陸上競技・ソフトボール・野球・サッカー・ハンドボール）</p> <p>2 くれ・チャレンジマッチ事業<br/>児童・生徒の運動への関心及び運動能力の全体的な底上げのため，運動が苦手な子どもでも取り組めるよう楽しく競い合える IT システム（くれ・チャレンジマッチ・スタジアム）の運営を行った。<br/>※ 「くれ・チャレンジマッチ・スタジアム」参加状況：呉市立小・中・義務教育学校 59 校の 490 学級中 467 学級</p> <p>3 体力・運動能力向上コーディネーターを対象とした研修会の実施<br/>体力・運動能力向上コーディネーター（平成 24 年度から，呉市独自の施策として全校に 1 名配置）を対象として，指導力向上に向けた研修会を実施した。</p> |                    |                    |                    |        |                    |    |
| 成果・課題                                                       | 全国体力・運動能力，運動習慣等調査において，呉市の児童・生徒の体力・運動能力は，全国平均と比べると高いものの，低下傾向である。運動やスポーツが好きな児童・生徒の割合は，全国平均と比べると高く，昨年度よりも増加している。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                    |                    |                    |        |                    |    |
| 今後の取組                                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校（6 年間で全 35 校）及び中学校の運動部活動（毎年 3 競技程度）に計画的にトップアスリート等を派遣し，児童・生徒の運動意欲の向上を図る。</li> <li>・教科部会において，「くれ・チャレンジマッチ・スタジアム」の効果的な活用について取り上げるなどして，児童・生徒の運動意欲の向上と運動機会の増加に取り組むことで体力の向上を図る。</li> <li>・令和 7 年度は，日本体育大学の准教授を講師として体力・運動能力向上コーディネーターを対象とした研修会を実施し，教職員の資質・能力の育成を図る。</li> </ul>                                                                                                                                                                     |                    |                    |                    |        |                    |    |

【進捗：○…おおむね想定どおり進捗している項目 △…進捗上，課題の見える項目】

## 基本施策 1 義務教育の充実

| 教育振興基本計画の目標指標                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                  |                                                                   |                                                                   |     | 目標値（R 8）                                                               |    |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|-----|------------------------------------------------------------------------|----|
| ① 1 か月の間に本を 1 冊も読んでいない児童・生徒の割合<br>② 興味・関心があることや学習に関することを、本や資料を活用して調べている児童・生徒の割合<br>③ (小) 本を読んで、知りたいことが分かったり、自分の考えを広げたりすることがある児童の割合<br>(中) 本を読んで、自分の生き方や社会との関わり方について考えることがある生徒の割合<br>〈広島県児童生徒学習意識等調査 令和 6 年 6 月実施〉 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                  |                                                                   |                                                                   |     | ① 小 2.0%以下<br>中 8.0%以下<br>② 小 70.0%<br>中 60.0%<br>③ 小 80.0%<br>中 65.0% |    |
| 評価値                                                                                                                                                                                                               | 基準年<br>R 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | R 4                                                              | R 5                                                               | R 6                                                               | R 7 | R 8                                                                    | 進捗 |
|                                                                                                                                                                                                                   | ①小 8.9%<br>中 21.6%<br>②小 68.7%<br>中 57.4%<br>③小 76.3%<br>中 61.6%                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | ①小 8.0%<br>中 18.6%<br>②小 72.1%<br>中 61.1%<br>③小 79.3%<br>中 62.5% | ①小 10.1%<br>中 20.8%<br>②小 72.9%<br>中 57.0%<br>③小 77.1%<br>中 58.8% | ①小 11.3%<br>中 18.6%<br>②小 74.9%<br>中 53.0%<br>③小 82.3%<br>中 63.6% | —   | —                                                                      | △  |
| 施策の概要                                                                                                                                                                                                             | 児童・生徒にとって読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を確かなものにするものである。しかし、呉市の小・中・義務教育学校において、本を読まない児童・生徒が一定の割合でいる。また、発達段階が上がるにつれ、その割合が高くなる傾向がある。そのため、児童・生徒が本に親しみ、本から学び、自らの考えを深めることができるよう、児童・生徒の読書習慣を形成する。                                                                                                                                                                                               |                                                                  |                                                                   |                                                                   |     |                                                                        |    |
| 取組状況                                                                                                                                                                                                              | 1 学校司書の配置による学校図書館環境の充実<br>全校に学校司書（19名）を配置（天応学園には加配講師を 1 名配置）し、推薦図書や季節や行事にあわせた図書紹介コーナーの設置など、児童・生徒が本に親しみ、また授業等の学習活動で利用しやすい学校図書館環境を整備<br>2 学校司書の資質・能力向上のための研修を実施（全 3 回、うち呉市立中央図書館で 1 回開催）<br>3 児童・生徒の読書習慣形成に向けたイベントの開催<br>・「子ども司書」養成講座※ <sup>7</sup> （小学校高学年対象、全体研修 2 回、実地研修 3 回、各小学校での取組 5 回以上）<br>・呉市内全小・中・義務教育学校でブックリスト読書感想文※ <sup>8</sup> を実施（全児童・生徒対象、年 1 回）                       |                                                                  |                                                                   |                                                                   |     |                                                                        |    |
| 成果・課題                                                                                                                                                                                                             | 学校司書研修では、実地研修（港町小学校図書館整備）やタブレットを活用した学校司書間の情報共有に係る研修を行った。また、呉市立中央図書館と連携し、団体貸出や電子図書サービスの利用など、呉市立図書館の活用について研修を行うことで、各校の学校図書館環境の整備や児童・生徒の読書活動の充実につなげることができた。<br>しかし、いくつかの評価値が前年度を下回っており、児童・生徒の読書習慣の形成には至っていない。特に、目標指標①については依然として高い数値を示しており、課題である。<br>学校図書館環境の整備はもとより、図書館教育担当教員と学校司書の連携を充実させ、児童・生徒主体の読書啓発のための取組の充実を図る必要がある。また、呉市立図書館と連携した読書イベントの充実や保護者の意識の醸成に向けた家庭への働きかけについて積極的に進める必要がある。 |                                                                  |                                                                   |                                                                   |     |                                                                        |    |
| 今後の取組                                                                                                                                                                                                             | 各校においては、図書資料等の授業での活用を推進するために、引き続き図書館教育担当教員と学校司書の連携を促すとともに、委員会活動等において、児童・生徒主体の読書啓発活動の充実を図る。また、「子ども司書」養成講座を受講した児童・生徒が活躍できる場を積極的に設定していく。さらに、それらの取組の好事例について、学校司書間の情報共有を促し、各校の取組の充実につなげる。<br>また、呉市立小中学校教育研究会図書館教育部会において、より児童・生徒の実態に応じた読書活動推進の取組が進むよう、指導・助言を行う。<br>さらに、呉市立図書館と連携し、学校に対する電子図書の利用促進や呉市立図書館のイベントの紹介を積極的に行うとともに、読み聞かせや親子読書の推進等、家庭への働きかけを行うことにより、児童・生徒が本に親しみやすい環境づくりを進める。       |                                                                  |                                                                   |                                                                   |     |                                                                        |    |

【進捗：○…おおむね想定どおり進捗している項目 △…進捗上、課題の見える項目】

※<sup>7</sup> 「子ども司書」養成講座：児童の中に読書活動を推進するリーダーを養成するため、小学校 5・6 年生の児童を対象に、呉市立図書館での実地研修や各校での活動等を行う。

※<sup>8</sup> ブックリスト読書感想文：子どもたちが魅力的で楽しい本と出会うきっかけづくりとなるよう実施する、呉市立図書館の図書司書が選定したブックリスト（推薦図書リスト）による読書感想文コンクール

## 基本施策 1 義務教育の充実

| 教育振興基本計画の目標指標                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |            |       |       |       |     | 目標値（R 8） |    |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|-------|-------|-------|-----|----------|----|
| 日々の業務の中で充実感を得られていると感じる教職員の割合<br>〈学校の業務改善に係るアンケート調査 令和6年9月実施〉                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |            |       |       |       |     | 100.0%   |    |
| 評価値                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 基準年<br>R 2 | R 4   | R 5   | R 6   | R 7 | R 8      | 進捗 |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 84.5%      | 85.5% | 83.3% | 85.9% | —   | —        | ○  |
| <b>施策の概要</b><br>教職員の資質・能力の向上を図るとともに、教職員一人ひとりが健康で生き生きとやりがいを持って働くことのできる環境づくりを進める。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |            |       |       |       |     |          |    |
| <b>取組状況</b><br>1 A I 型デジタルドリルの導入（令和6年8月運用開始）<br>管理者（教職員）用ツールを活用し、児童・生徒一人ひとりの実態把握や授業改善につなげた。また、プリントの印刷や採点業務を軽減した。<br>2 統合型校務支援システムの機能拡張（令和6年9月運用開始）<br>教員用タブレットから校務支援システムへの入力・参照機能を追加し、教室をはじめ校内のどこからでも校務情報の入力や閲覧を可能とした。<br>3 保護者連絡システムの導入（令和6年9月運用開始）<br>保護者から学校への児童・生徒の欠席連絡をデジタル化し、教職員の電話対応を軽減した。また、学校から保護者への連絡や文書配付をデジタル化した。<br>4 学校の業務改善に係る教職員アンケートの実施<br>アンケートの集計及び分析結果を各校に送付し、各校の実態に基づいた業務改善の推進を図った。<br>5 「働き方改革」に係る研修の充実及び情報発信<br>校内服務研修に「働き方改革」に係る研修を位置付けさせることにより、教職員の勤務時間管理や働き方改革に向けた意識の醸成を図った。また、We b サービスを利用し、「教職員の働き方改革」に係る情報発信を行うことにより、タイムマネジメント等に係る教職員の意識の醸成を図った。 |            |       |       |       |     |          |    |
| <b>成果・課題</b><br>・令和6年度は、I C Tの効果的な活用のための環境整備を進めることにより、教職員の業務の更なる効率化を図った。また、教職員アンケートや勤務時間管理等を継続し、教職員の勤務実態を「見える化」したり、「働き方改革」に係る研修を実施したりすることにより、働き方改革に向けた教職員の意識の醸成を図った。さらに、そうした意識の醸成により、各種アンケート調査や校内研修等におけるタブレットの活用、繁忙期の時程の工夫、資料や教材等のデータ共有など、教職員のアイディアを活かした各学校の業務改善が進んだ。評価値が向上したことから、学校における働き方改革が確実に進んでいるものと考えられる。<br>・業務改善に係るI C Tの効果的な活用については、ネットワーク環境や教職員の活用スキルに差が生じている現状がある。そのため、細かな実態把握に基づいた支援が必要である。<br>・学校における働き方改革を推進する上で、教職員一人ひとりの充実感の向上は欠かせない。そのため、心理的安全性の高い職場づくりに向け、管理職の組織マネジメント力を向上させる必要がある。                                                                         |            |       |       |       |     |          |    |
| <b>今後の取組</b><br>I C Tの効果的な活用を更に進めるために、関係課と連携してネットワーク環境の改善を図るとともに、I C T活用の好事例に係る情報発信を行う。<br>また、働き方改革に係る取組等をまとめた「学校における働き方改革取組方針」（令和5年4月改定）の内容を踏まえ、学校の実態に基づいた取組を着実に実行するとともに、取組方針の改定を視野に、教職員の働き方改革に係る国や県の動向等を注視しながら、必要な施策について検討を進める。<br>とりわけ、「学校・教師が担う業務に係る3分類」※9のうち、「基本的には学校以外が担うべき業務」及び「学校の業務だが、必ずしも教師が担う必要のない業務」について、令和7年度から全市で導入するコミュニティ・スクールを活用した取組の好事例等を積極的に発信し、地域と協働した学校運営を促進する。<br>あわせて、引き続き教職員の在校等時間の把握など、適正な勤務時間管理を行い、実態に基づく指導・助言を行いながら、教職員の業務の効率化や勤務時間に対する意識を醸成するとともに、研修を通して管理職の組織マネジメント力向上を図る。                                                                       |            |       |       |       |     |          |    |

【進捗：○…おおむね想定どおり進捗している項目 △…進捗上、課題の見える項目】

※9 「学校・教師が担う業務に係る3分類」：平成31年の中央教育審議会答申により示された。学校の業務について、「基本的には学校以外が担うべき業務」「学校の業務だが、必ずしも教師が担う必要のない業務」、「教師の業務だが、負担軽減が可能な業務」の3つに分類。

## 基本施策 1 義務教育の充実

| 個別の目標指標（教育振興基本計画にない目標）                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                    |                    |                    |     | 目標値（R 8）             |    |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|--------------------|--------------------|-----|----------------------|----|
| ①特別な支援が必要な全ての児童・生徒に「個別的教育支援計画」を作成している学校の割合<br>②特別な支援が必要な全ての児童・生徒に「個別の指導計画」を作成している学校の割合<br>〈特別支援教育に係る児童生徒の実態調査 令和6年9月実施〉 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                    |                    |                    |     | ① 100.0%<br>② 100.0% |    |
| 評価値                                                                                                                     | 基準年<br>R 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | R 4                | R 5                | R 6                | R 7 | R 8                  | 進捗 |
|                                                                                                                         | ① 90.0%<br>② 96.0%                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | ① 97.0%<br>② 97.0% | ① 98.3%<br>② 98.3% | ①100.0%<br>②100.0% | —   | —                    | ○  |
| 施策の概要                                                                                                                   | 特別な支援が必要な全ての児童・生徒に対して「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」を作成し、障害のある児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズを的確に把握したうえで、特別支援学級指導員及び学校教育指導補助員を適切に派遣するなどして、障害の状態や発達段階に応じたきめ細かな指導・支援の充実を図る。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                    |                    |                    |     |                      |    |
| 取組状況                                                                                                                    | 1 特別支援学校のセンター的機能などを活用した、特別支援教育に関する知識を有する専門家による学校への巡回相談（オンライン相談、来校相談、電話相談含む）の実施 ※小学校24校、中学校14校、義務教育学校1校<br>2 特別支援学級担任者を対象とした研修会の開催（県1回、市2回）<br>3 幼保小中義の特別支援教育コーディネーター※10合同研修会の開催（1回）<br>4 特別支援学級指導員、医療的ケア看護職員、学校教育指導補助員の派遣                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                    |                    |                    |     |                      |    |
| 成果・課題                                                                                                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門家による学校への巡回相談により、実態把握の方法、障害のある児童・生徒への指導や支援の方法について、各校へ指導・助言を行った。巡回相談を複数回実施する学校が増え、回数が増加したことにより、実態把握を重視したAPDCAサイクルに基づく事例が増えている。</li> <li>・教育委員会主催の研修会において、特別支援学級担任や特別支援教育コーディネーターに対して、「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」を作成する意義や留意点等について、指導・助言を行った。</li> <li>・「特別支援教育に係る児童生徒の実態調査」の結果を基に、計画を作成していない学校へ働きかけることにより、全ての学校が作成した。</li> <li>・各校の児童・生徒の実態に応じて、特別支援学級指導員56名、医療的ケア看護職員2名、学校教育指導補助員58名を派遣した。</li> <li>・特別支援学級に在籍する児童・生徒に対する指導や支援、保護者への対応について、教職員の資質・能力の向上を図る必要がある。</li> </ul> |                    |                    |                    |     |                      |    |
| 今後の取組                                                                                                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各校へセンター的機能を活用した巡回相談の意義、目的等について情報発信する。また、巡回相談を活用していない学校に対しては個別に積極的な活用を促し、特別支援教育に関する知識を有する専門家による指導・助言を基にした児童・生徒の発達の状況に応じた支援の充実を図る。</li> <li>・研修会等において、児童・生徒の実態把握や合理的配慮の検討の具体を示したりするなどして、「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」を見直す機会を設けたり、障害のある児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズを的確に把握し、障害の状態や発達段階に応じたきめ細かな指導・支援の充実を図る。</li> <li>・各校の児童・生徒の実態を把握し、特別支援学級指導員56名、学校教育指導補助員60名及び医療的ケア看護職員2名の適正な派遣を行う。</li> <li>・研修会や校長会及び特別支援教育担当指導主事や特別支援教育相談員による学校訪問を通じて、児童生徒への適切な指導・支援や丁寧な保護者対応に向けた指導・助言を行う。</li> </ul>  |                    |                    |                    |     |                      |    |

【進捗：○…おおむね想定どおり進捗している項目 △…進捗上、課題の見える項目】

※10 特別支援教育コーディネーター：学校内の関係者や外部の関係機関との連絡調整役、保護者に対する相談窓口、学級担任への支援、校内委員会の運営や推進役といった役割を担う教職員

## 基本施策2 高等学校教育の充実

| 教育振興基本計画の目標指標                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |       |       |       |     | 目標値（R 8）     |    |
|-----------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|-------|-----|--------------|----|
| <b>呉高等学校に行かせてよかったと感じている保護者の割合</b><br><b>〈学校評価（学年末）アンケート 令和7年1月実施〉</b> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |       |       |       |     | <b>96.0%</b> |    |
| 評価値                                                                   | 基準年<br>R 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | R 4   | R 5   | R 6   | R 7 | R 8          | 進捗 |
|                                                                       | 94.5%                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 93.2% | 94.1% | 92.9% | —   | —            | ○  |
| 施策の概要                                                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な社会の担い手として、新たな価値を生み出す力を磨く、総合学科の特色を生かした高等学校教育の充実を図る。</li> <li>・部活動や学校行事を通して、学校生活を充実させるとともに、心身の調和の取れた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としての自主性・自立性を養う。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |       |       |       |     |              |    |
| 取組状況                                                                  | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 キャリア教育を柱に、生徒一人ひとりが自立した社会人・職業人として将来を展望し、その実現のために必要な教科・科目を適切に選択できるよう、教育課程を編成・実施した。</li> <li>2 生徒の学力の向上、規範意識や社会性、奉仕の精神を<sup>かんよう</sup>涵養する指導を充実し、市民等から誇りに思われる生徒を育成することに努めた。</li> <li>3 部活動の充実により、自己肯定感を高めつつ、活動実績へとつなげる。</li> </ol>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |       |       |       |     |              |    |
| 成果・課題                                                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校経営等に関するアンケートは毎年度全保護者及び全生徒に行っており、回答率はおおむね100%である。アンケート項目は全14項目あるが、目標指標に関連する項目を抜粋して成果や課題を考察している。</li> <li>・目標指標の項目の評価値は、前回調査より減少した。</li> <li>・保護者アンケートにおいて、充実した学校生活の面の「生徒会行事（体育祭・市呉祭・クラスマッチなど）に意欲的に取り組んでいる」の項目で、前回調査で99.3%であった数値が98.8%に減少したが、行事の様子を多くの保護者に見てもらえる機会が増え、活動を通して生徒が主体的に取り組む姿を感じてもらえ、生徒の成長に対する満足度は依然として高いと考える。また、昨年度の課題としていた「呉高等学校の進路指導は、進路相談や個別指導など生徒一人ひとりに適したきめ細かい指導がなされている」「呉高等学校では、進路指導について保護者に必要な情報が提供されている」の項目ではいずれも数値が増加し、取組の成果が出ている。</li> <li>・「呉高等学校の授業では、生徒の教科学力を最大限に伸ばしている」の項目で、前回調査で87.4%であった数値が84.4%まで大きく減少している。評価値の減少の一因になっていると考える。生徒アンケートにおいては、「私は、授業を真剣に受け授業内容を理解するように努力している」の項目では99.1%と数値が高いことから、意欲・関心があっても授業で学力の向上を実感できていない生徒は一定数いること、授業参観や模擬試験などの結果から授業で学力の向上を図れていないと考える保護者が増加していることも考えられる。</li> </ul> |       |       |       |     |              |    |
| 今後の取組                                                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本校で身に付けたスキルが生徒の進路実現の一助となっていることを保護者が実感できるよう、卒業研究（フロンティアⅡ）のゼミ別発表会や全体発表会の生徒の様子を保護者に積極的に発信して生徒の成長を感じてもらおう。今後も、ホームページ等を充実させ、行事などを通して生徒が主体的に取り組み、成長する姿を発信する取組を継続して行う。</li> <li>・卒業研究（フロンティアⅡ）などの取組が進路実現に密接につながっていることを生徒に意識させながら、体系的な進路指導体制の確立を目指す。教員のファシリテート力を向上させるために校内研修を実施するとともに、教科主任会議や教科会等においても授業改善の取組を進めていく。生徒には学習支援ツールの活用によって隙間時間を有効に活用することで家庭学習時間の増加につなげていくことや主体的に弱点の強化を図れるように支援・助言していく。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |       |       |       |     |              |    |

【進捗：○…おおむね想定どおり進捗している項目 △…進捗上、課題の見える項目】

## 基本施策2 高等学校教育の充実

| 教育振興基本計画の目標指標                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |       |       |       |     | 目標値（R 8） |    |
|-----------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|-------|-----|----------|----|
| 年間1回以上ボランティア活動に参加した呉高等学校生徒の割合<br>〈学校評価年度末結果 令和7年2月〉 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |       |       |       |     | 80.0%    |    |
| 評価値                                                 | 基準年<br>R 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | R 4   | R 5   | R 6   | R 7 | R 8      | 進捗 |
|                                                     | 71.0%                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 37.0% | 51.0% | 66.9% | —   | —        | ○  |
| 施策の概要                                               | <p>地域活動（ボランティア活動）への参加を通して、地域の願いや社会問題に対する関心を深め、社会貢献への意欲と実践力を高める。</p> <p>また、積極的に何度も地域活動に参加することにより、社会への参画意識を涵養<sup>かんよう</sup>し、貢献意識を醸成するとともに、予測不能な社会に対する自己の関わり方の発見と「学び」との連結を図る。</p>                                                                                                                                                                                |       |       |       |     |          |    |
| 取組状況                                                | 各所から参加依頼のあったボランティア活動について速やかに生徒に広報し、生徒会を中心に、積極的な参加を呼び掛けた。                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |       |       |       |     |          |    |
| 成果・課題                                               | <p>ボランティアの募集件数がコロナ禍を経て、以前の数に戻りつつある上、新規の依頼も増えている。今後も評価値が増加する傾向にあると考えている。</p> <p>阿賀学園地域教育連携協議会（アガデミア）の活動の一つである地域一斉津波避難訓練に合わせて行われる清掃活動（クリーンアップ・ザ・AGA）において、コロナ禍にあつては、校内の美化活動に切り替えることを余儀なくされてきたが、令和6年度はようやく第3学年全員で学校周辺の美化活動を再開でき、地域貢献につながった。</p> <p>ボランティア活動の参加生徒は、学年が上がるにつれて増加しており、これは学年を追うごとに貢献意識の醸成がなされていることの裏付けと考えられる。</p> <p>今後は、低学年の段階から貢献意識を醸成することが課題である。</p> |       |       |       |     |          |    |
| 今後の取組                                               | <p>ボランティア活動に参加する生徒の全体数を増やすため、生徒会を中心に、ボランティア活動への参加を積極的に生徒に呼び掛けるなど、啓発活動を充実させる。また、部活動単位でも地域貢献できることを考え、取り組む。</p> <p>学校運営協議会の委員として地元の方々にも参画していただいております。例えば、生徒が地域の清掃活動や行事にボランティアとして携わることで社会貢献意識や自己肯定感を醸成することができるよう活動を模索していく。公的に募集されるボランティア活動だけでなく、地域に対して貢献できる場面を自ら探しに行くことで、ボランティア活動の裾野を広げていく。</p>                                                                     |       |       |       |     |          |    |

【進捗：○…おおむね想定どおり進捗している項目 △…進捗上、課題の見える項目】

### 基本施策3 安全・安心な教育環境の充実

| 教育振興基本計画の目標指標                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |       |       |       |     | 目標値（R 8）     |    |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|-------|-----|--------------|----|
| <b>小・中学校トイレの洋式化率</b><br><b>〈公立学校施設のトイレ状況調査 令和5年9月実施〉</b><br><b>（平均洋式化率：全国 68.3% 広島県 63.9% 呉市 37.8%）</b> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |       |       |       |     | <b>91.4%</b> |    |
| 評価値                                                                                                     | 基準年<br>R 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | R 4   | R 5   | R 6   | R 7 | R 8          | 進捗 |
|                                                                                                         | 33.7%                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 37.8% | 47.1% | 69.7% | —   | —            | ○  |
| 施策の概要                                                                                                   | <p>各家庭においては、生活様式の変化により洋式トイレが主流となっているが、昭和50年代に多く建設された学校については、主に和式トイレが設置されているため、学校や保護者から洋式トイレの設置を求める声が多い。</p> <p>また、呉市立小・中学校のトイレの洋式化率は、全国や広島県と比較して低い状況にある。</p> <p>この状況を解消するため、計画的にトイレ改修による洋式化を行い、令和8年度の洋式化率が66.0%以上（1,790基／2,711基）になることを目指すとしていたが、他団体の状況を踏まえ、令和8年度の洋式化率が91.4%（2,452基／2,683基）になることを目指す。</p> <p>洋式化の基本的な考え方は、原則、1階の和式トイレ1基を残し全て洋式化する。</p> <p>なお、校舎等の建替工事・長寿命化改良工事を行う場合は、全て洋式トイレを設置する。</p> |       |       |       |     |              |    |
| 取組状況                                                                                                    | <p>令和6年度は、33校447基分の工事を行い、洋式化に係る24校662基分及びバリアフリートイレ整備に係る6校分の設計を行った。</p> <p>また、天応学園は長寿命化改良工事に伴い、トイレ洋式化を行った。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                         |       |       |       |     |              |    |
| 成果・課題                                                                                                   | <p>対象となるトイレが狭小で改造が必要な場合もあるため、実施設計や工事に時間を要しているが、これまで計画どおり順調に進んでいる。</p> <p>今後、更に事業を円滑に進めるためには、引き続き、関係部署や学校と十分に協議を行う必要がある。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                           |       |       |       |     |              |    |
| 今後の取組                                                                                                   | <p>トイレ改修による洋式化について、令和7年度末の事業完了を目指す。</p> <p>なお、校舎等の建替工事・長寿命化改良工事を行う場合は全て洋式トイレにするため、令和8年度以降も、洋式化率が上昇することを見込んでいる。</p> <p>また、文部科学省が、学校施設のバリアフリー化の一層の推進を掲げているため、避難所に指定されており、かつ、バリアフリートイレが未整備の学校へバリアフリートイレを整備する。バリアフリートイレ整備についても、令和7年度末の事業完了を目指す。</p>                                                                                                                                                       |       |       |       |     |              |    |

【進捗：○…おおむね想定どおり進捗している項目 △…進捗上、課題の見える項目】

### 基本施策3 安全・安心な教育環境の充実

| 教育振興基本計画の目標指標                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |        |        |        |     | 目標値（R 8） |    |
|-------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|--------|--------|-----|----------|----|
| 不審者情報を基に児童・生徒へ安全指導を実施した学校の割合<br>〈学校安全に関する取組状況調査 令和6年12月～令和7年1月実施〉 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |        |        |        |     | 100.0%   |    |
| 評価値                                                               | 基準年<br>R 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | R 4    | R 5    | R 6    | R 7 | R 8      | 進捗 |
|                                                                   | 100.0%                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 100.0% | 100.0% | 100.0% | —   | —        | ○  |
| 施策の概要                                                             | 不審者情報を保護者や地域住民などの登録者にメール配信して情報共有を図る取組などを通じて、こどもを見守る安全活動の体制を構築する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |        |        |        |     |          |    |
| 取組状況                                                              | 1 所轄の警察署への通報及び連携、近隣校での情報共有<br>2 メール配信等による保護者への情報提供<br>3 不審者情報を基に児童・生徒への安全指導の実施 ※ 不審者情報：20件<br>4 「呉こども110番の家 <sup>※11</sup> 」の設置                                                                                                                                                                                                                                                                             |        |        |        |     |          |    |
| 成果・課題                                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>警察や学校との連携による迅速な不審者情報の収集や不審者が出没した地区の学校に対して教育委員会事務局から不審者情報を発信することにより、二次被害及び同類の被害の発生を抑止することができた。</li> <li>不審者情報を把握した学校は、教職員に周知するとともに、下校時までには児童・生徒への周知及び安全指導を実施した。</li> <li>「呉こども110番の家」1,700か所を設置している。</li> </ul>                                                                                                                                                       |        |        |        |     |          |    |
| 今後の取組                                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>学校が不審者情報を入手した場合は、直ちに教育委員会事務局に報告するとともに、登下校の安全指導を確実に実施する。</li> <li>教育委員会事務局は、迅速な警察との連携をととして、学校に正確な情報提供を行うとともに、不審者情報を入手した学校及びその近隣の学校に対して、児童・生徒への安全指導を徹底するよう、その都度指導する。</li> <li>「地域安全マップ」づくりや防犯教室等による児童・生徒の危険予測・回避能力を育成する取組を推進する。</li> <li>警察や学校との連携による迅速な不審者情報の収集及び「呉市防災情報メール」を活用した不審者情報のメール配信により、犯罪の未然防止を図る。</li> <li>引き続き、「呉こども110番の家」を設置し、児童・生徒の安全確保を目指す。</li> </ul> |        |        |        |     |          |    |

【進捗：○…おおむね想定どおり進捗している項目 △…進捗上、課題の見える項目】

※11 呉こども110番の家：児童・生徒が身の危険を感じ、助けを求めたい時に駆け込める緊急避難場所

### 基本施策3 安全・安心な教育環境の充実

| 教育振興基本計画の目標指標                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                  |                  |                        |        | 目標値（R 8） |        |
|----------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|------------------|------------------------|--------|----------|--------|
| 不登校児童・生徒の割合<br>〈児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査（令和6年3月実施）〉 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                  |                  |                        |        | 小 0.5%   | 中 2.0% |
| 評価値                                                      | 基準年<br>R 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | R 4              | R 5              | R 6                    | R 7    | R 8      | 進捗     |
|                                                          | 小 1.4%<br>中 3.8%                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 小 1.6%<br>中 6.0% | 小 2.0%<br>中 7.2% | 小 2.3%※12<br>中 6.5%※12 | —<br>— | —<br>—   | △      |
| 施策の概要                                                    | 学校の内外を問わず、「不登校児童・生徒が安心できる居場所づくり」を進めながら、児童・生徒の多様な実態を踏まえ、「学校に登校する」という結果のみを目標とするのではなく、将来の社会的自立を目指した支援の充実に向けた取組を推進する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                  |                  |                        |        |          |        |
| 取組状況                                                     | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 校内にスペシャルサポートルーム（以下「SSR」という。）を設置（県事業のSSR推進校2校、市事業のSSR4校、県加配を活用したSSR2校）</li> <li>2 呉市教育支援センターの運営（3か所）<br/>・児童・生徒の利用状況：85名（見学通室・見学含む）</li> <li>3 学校生活適応支援員の派遣（3校3名）</li> <li>4 学校に呉市スクールカウンセラー及び呉市スクールソーシャルワーカーを派遣<br/>・呉市スクールカウンセラー（3名）への相談件数：90件<br/>・呉市スクールソーシャルワーカー（4名）への相談件数：766件</li> <li>5 教育委員会事務局にスクールカウンセラー（1名）を常駐<br/>・相談件数：666件</li> <li>6 呉市教育支援センターのリーフレットや不登校等児童・生徒の居場所や支援をまとめたリーフレット「いいばしょいろいろ」の作成</li> <li>7 フリースクールとの連携</li> </ol>                                                                                                                            |                  |                  |                        |        |          |        |
| 成果・課題                                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校の不登校生徒数及び割合（R 5：347名，7.2%，R 6：340名，6.5%）及び新たな不登校児童・生徒が減少した。（R 5：48%，R 6：41%）</li> <li>・SSRや呉市教育支援センター，SCHOOL“S”※13などの活用や，学校生活適応支援員，スクールカウンセラー，スクールソーシャルワーカーの派遣を通して，児童・生徒一人ひとりの実態に応じた支援を行うことができた。</li> <li>・SSR利用児童・生徒の感想として「毎日登校できるようになった。」「自分で決める力が付いた。」「試験を時間割どおりにできるようになるなど，集中力が付いた。」等</li> <li>・リーフレットや学校安全課のホームページを効果的に活用しながら，不登校等児童・生徒の居場所や施設の利用方法について積極的に周知した。</li> <li>・不登校未然防止の取組を定期的に各学校に紹介した。（月2回程度「生徒指導栄養」発行）</li> <li>・フリースクールの様子や取組を校長会等で紹介した。</li> <li>・新たな不登校児童・生徒が減少したが，引き続き新たな不登校を生まない取組を進める必要がある。</li> </ul>                                            |                  |                  |                        |        |          |        |
| 今後の取組                                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・お互いの個性や多様性を認め合い，安心して学校生活を送ることができる風土を児童・生徒自らがつくり上げるよう教職員が支援し，新たな不登校を生まない「魅力ある学校づくり」を目指す。</li> <li>・スクールカウンセラー，スクールソーシャルワーカー等の専門家を効果的に活用し，不登校の未然防止及び適切な初期対応に取り組む。</li> <li>・令和7年度は，SSRを19校設置する。（県事業のSSR推進校5校，市事業のSSR8校，生徒指導員や県の加配等を活用した学校6校）</li> <li>・希望する学校へ「いいばしょサポーター」※14を派遣し，不登校，不登校傾向及び特別な支援が必要と考えられる児童生徒の支援を行う。</li> <li>・リーフレット「いいばしょいろいろ」を随時，実態に合うように改訂し，不登校等児童・生徒の居場所や支援に係る周知を図る。</li> <li>・誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策として，文部科学省が示した不登校により学びにアクセスできない児童・生徒ゼロを目指し，児童・生徒の状況や学校の実態把握，市事業のSSRや呉市教育支援センター等の取組の成果・課題を整理するなどして，不登校等児童・生徒の居場所づくりや学びにアクセスできる環境づくりに努める。</li> </ul> |                  |                  |                        |        |          |        |

【進捗：○…おおむね想定どおり進捗している項目 △…進捗上，課題の見える項目】

※12 令和6年度の評価値は，現段階では未確定であり，令和7年11月に確定予定

※13 SCHOOL“S”：不登校等の小中学生を支援する広島県の教育支援センター。東広島市の広島県立教育センター内に設置されており，来室による利用（各教科等の学習や体験的な活動など）とオンラインによる利用（学習アプリの活用やプログラムの配信），又はその併用が可能であり，児童・生徒の社会的自立に向けた成長を支援する。

※14 いいばしょサポーター：有償のボランティアで，不登校等児童・生徒に対する支援に理解と情熱を有する呉市近隣の大学の学生及び大学院生，教職経験者等をサポーターとして登録し，希望校に派遣する。

### 基本施策3 安全・安心な教育環境の充実

| 個別の目標指標（教育振興基本計画にない目標）                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                    |                    |                    |        | 目標値（R 8）           |    |
|-------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------|--------------------|----|
| 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる児童・生徒の割合 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                    |                    |                    |        | 小 80.0%<br>中 80.0% |    |
| 〈全国学力・学習状況調査 令和6年4月実施〉                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                    |                    |                    |        |                    |    |
| 評価値                                       | 基準年<br>R 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | R 4                | R 5                | R 6                | R 7    | R 8                | 進捗 |
|                                           | —※15<br>—                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 小 75.9%<br>中 79.7% | 小 76.7%<br>中 75.0% | 小 74.6%<br>中 75.5% | —<br>— | —<br>—             | ○  |
| 施策の概要                                     | 児童・生徒一人ひとりの状況を的確に把握し、全ての教育活動において望ましい集団づくりを進めるとともに、児童・生徒が様々な生活上の困難やストレスに直面したときにSOSを出せるよう環境を整備し、児童・生徒が安全・安心に学ぶことができる学校を目指す。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                    |                    |                    |        |                    |    |
| 取組状況                                      | 1 児童・生徒の状況把握や実態に応じた対応<br>2 「命を大切にする教育」の実施<br>3 相談窓口の周知<br>4 タブレットで死をほのめかす言葉を検索した児童・生徒への対応<br>5 教職員の生徒指導力向上に向けた研修等の実施<br>6 生徒指導員の派遣（11名）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                    |                    |                    |        |                    |    |
| 成果・課題                                     | <ul style="list-style-type: none"><li>・長期休業明けに、小学校5年生以上の児童・生徒を対象として「こころとからだのアンケート」及び全員面談を実施するとともに、学期に1度のいじめアンケートや個人面談等を実施することにより、児童・生徒の実態把握に努めた。</li><li>・スクールカウンセラー等による「命を大切にする教育」の授業を全校で実施し、こどものレジリエンス（心の回復力）の育成やSOSを出すことのできる子供の育成を図るとともに、各種相談窓口の情報を掲載した相談窓口リーフレットを更新するなど、相談窓口の積極的な周知を行った。</li><li>・タブレットで死をほのめかす言葉を検索した児童・生徒を把握した場合、早急に本人面談及び保護者連携を行い、必要に応じて、スクールカウンセラー等関係機関とつないでいる。</li><li>・児童・生徒への対応やコミュニケーションの取り方等、生徒指導に関する効果的な取組やポイント等について定期的（月2回程度「生徒指導栄養」発行）な紹介、適切な支援につなげるアセスメントの重要性についての研修等の実施等、教職員の生徒指導力の向上に取り組んだ。</li><li>・学校の実態を踏まえ、生徒指導員を11中学校区に11名派遣した。</li><li>・この質問項目について、「まったく当てはまらない」と回答した児童・生徒が小学校で6.3%、中学校で7.3%いる。</li></ul> |                    |                    |                    |        |                    |    |
| 今後の取組                                     | <ul style="list-style-type: none"><li>・お互いの個性や多様性を認め合い、安心して学校生活を送ることができる風土を児童・生徒自らがつくり上げるよう教職員が支援し、「魅力ある学校づくり」を目指す。</li><li>・校長会・教頭会や生徒指導主事等研修会等において、積極的に情報共有を行うとともに学校訪問や校内研修等において指導主事や教育委員会事務局に常駐しているスクールカウンセラーを積極的に派遣し、指導・助言を行う。</li><li>・教職員が児童・生徒のSOSを受け止めるために必要なことや大切なことなど、生徒指導栄養を活用し、タイムリーに発信していく。</li><li>・長期休業明けの「こころとからだのアンケート」及び全員面談、学期に1度のいじめアンケートや個人面談等を実施し、引き続き、児童・生徒の心身の状況を把握し、適切な支援に努める。</li><li>・「命を大切にする教育」として担任、スクールカウンセラー等による授業を全校で実施するとともに、各種相談窓口の情報を掲載した相談窓口リーフレットを活用するなどして、相談窓口を積極的に周知する。</li><li>・各校の実態を踏まえ、生徒指導員11名の適切な派遣を行う。</li></ul>                                                                                    |                    |                    |                    |        |                    |    |

【進捗：○…おおむね想定どおり進捗している項目 △…進捗上、課題の見える項目】

※15 令和3年度調査では、「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる児童・生徒の割合」の調査項目がなかった。

### 基本施策3 安全・安心な教育環境の充実

| 教育振興基本計画の目標指標                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                     |                     |                     |     | 目標値（R 8）                                       |    |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|---------------------|---------------------|-----|------------------------------------------------|----|
| ①自分が住む地域に起こりやすい災害について理解している児童・生徒の割合<br>②災害時に避難する場所や避難の仕方について理解している児童・生徒の割合<br>「呉市学校防災週間」取組内容調査 令和6年7月実施 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                     |                     |                     |     | ①小 100.0%<br>中 100.0%<br>②小 100.0%<br>中 100.0% |    |
| 評価値                                                                                                     | 基準年<br>R 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | R 4                 | R 5                 | R 6                 | R 7 | R 8                                            | 進捗 |
|                                                                                                         | ①小 — %<br>中 — %                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | ①小 87.6%<br>中 92.4% | ①小 91.0%<br>中 93.1% | ①小 96.5%<br>中 94.1% | —   | —                                              |    |
|                                                                                                         | ②小 — %<br>中 — %                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | ②小 92.8%<br>中 93.7% | ②小 94.0%<br>中 94.9% | ②小 96.6%<br>中 94.4% | —   | —                                              |    |
|                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                     |                     |                     |     |                                                |    |
|                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                     |                     |                     |     |                                                |    |
| 施策の概要                                                                                                   | 平成30年7月豪雨災害の経験や記憶を風化させることなく教訓として未来への継承に取り組むとともに、頻発する自然災害に対して、児童・生徒が「自分の命は自分で守る」ために主体的に行動する能力を身に付ける取組を推進し、防災教育の充実を図る。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                     |                     |                     |     |                                                |    |
| 取組状況                                                                                                    | 1 呉市学校防災週間の充実<br>2 「呉市防災教育のための手引き」の活用<br>3 家庭を巻き込んだ防災教育の推進<br>4 呉市防災教育研修会の実施                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                     |                     |                     |     |                                                |    |
| 成果・課題                                                                                                   | ・全ての小・中学校が、出水期までの取組及び「呉市学校防災週間」における取組を確実に実施している。<br>・出水期までに、大雨を想定した避難訓練を実施するとともに、「土砂災害対応携帯マニュアル」を全児童・生徒に配付して家庭に持ち帰らせ、避難するタイミングや避難場所、避難経路などを家族と一緒に話し合う取組を行った。<br>・出水期前に防災に関する専門的な研修会を行い、学校安全指導者の資質の向上に取り組んだ。<br>・7月6日を含む1週間を「呉市学校防災週間」と位置付け、地域の防災リーダーを招いたり、地域の教材を活用したりして、地域の実態を踏まえた防災教育に取り組んだ。<br>・学校の実情に応じ、「呉市防災教育のための手引き」に基づいて行った実践を実践事例集としてまとめ、各校に配付した。<br>・南海トラフなどの大規模地震及び津波が発生した場合に備え、「地震・津波対応携帯マニュアル」を作成し、11月に実施される広島県の一斉防災訓練までに全児童・生徒に配付し、家族と避難場所や連絡方法などを家族と一緒に話し合う取組を行った。 |                     |                     |                     |     |                                                |    |
| 今後の取組                                                                                                   | ・児童・生徒が主体的に取り組むことのできる指導の工夫、場の設定等を工夫した避難訓練の実施など、地域の災害リスクを踏まえた実践的な防災教育をさらに充実させ、防災教育の深化を図る。<br>・「呉市学校防災週間」に、地域の防災リーダーを招いた防災教室や地域の教材を生かした学習等、各校の実情に応じた取組を行う。<br>・「土砂災害対応携帯マニュアル」及び「地震・津波対応携帯マニュアル」を全児童・生徒に配付し、避難するタイミングや避難場所、連絡方法などを家族と一緒に話し合う機会を作る。<br>・実践事例集を活用し、各教科等との指導を関連させることで取組の充実を図る。<br>・参観日での防災授業や地域合同防災訓練を実施するなど、家庭・地域を巻き込んだ防災教育を推進することで、学校・家庭・地域が連携し、ともに防災力を高める。<br>・南海トラフ地震などの大規模地震に備え、地震や津波による被害を想定した学習を充実させる。                                                         |                     |                     |                     |     |                                                |    |

【進捗：○…おおむね想定どおり進捗している項目 △…進捗上、課題の見える項目】

## IV 学識経験者の意見

### 1 概要

呉市教育委員会が実施した点検及び評価について、学識経験者等の方から、次のとおり意見を聴取しました。

| 氏 名     | 役 職 等           |
|---------|-----------------|
| 朝 倉 淳   | 広島大学名誉教授        |
| 小 松 綾   | 呉市PTA連合会副会長     |
| 古 江 由紀枝 | 呉市民生委員児童委員協議会会長 |

(五十音順)

### 2 聴取した意見

#### (1) 「基本施策 1 義務教育の充実」に関する意見

##### 【全国学力・学習状況調査結果（全国平均値との差）】（P10）

- ① 「目的に応じて必要な情報に着目して文章を読む力や与えられたデータを活用して考察したり説明したりする力」を向上させるためには、日常の中で、生活に関連する情報やデータに触れる機会を増やすことが重要である。

##### 【将来の夢や目標を持っている児童・生徒の割合ほか】（P11）

- ① 地域の人たちへの広報を強化し、興味を持ってもらい、協力を促してほしい。
- ② こどもたちが職場体験を単なる行事として消化するのではなく、意味や意義を深く感じられるように取り組んでほしい。

##### 【授業でタブレット端末を活用することができる教職員の割合ほか】（P12）

- ① 目的は、タブレット端末を使用することではなく、学ぶことである。こどもたちには、タブレット端末を使用するかしないかを使い分けられる力を身につけてほしい。
- ② こどもたちの体力面が心配である。タブレット端末を使用し続けることで、体を動かす機会が減少するのは問題があると思う。教育委員会としても対策をしてほしい。

##### 【自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合うことのできる児童・生徒の割合】（P13）

- ① ALTの先生を各校に1人配置してほしい。小学生の段階から英語に親しみ、英語学習への抵抗感をなくす上で非常に効果的な策だと思う。
- ② ALTを増やすのは難しいかもしれない。地域に住む外国語を話す方々の力を借りて、こどもたちが外国語や異文化に触れる機会を創出するのも一つの方法だ

と思う。

**【自分にはよいところがあると思っている児童・生徒の割合ほか】（P14）**

- ① どの学校においても、自分や他人を認め合うという考えが浸透していると感じる。また、そういった教育も浸透していると思うので、これからも取組を続けてもらいたい。
- ② 取組を続けることが大事だと考える。やめてしまうと、急激に割合が低下すると思う。

**【1か月の間に本を1冊も読んでいない児童・生徒の割合ほか】（P16）**

- ① どんな本を読んだら良いかアドバイスをしたり、保護者等がボランティアで読み聞かせを行ったりすることで、たくさんの本に触れるきっかけを作ってもらいたい。
- ② 本を読むことは、こどもたちの言葉の力や漢字の知識を豊かにするために非常に大切である。
- ③ 評価値①の表記の仕方が、ほかと異なり、数値が上がると目標から遠ざかるため、混乱を招く。
- ④ 紙媒体でのデータにも慣れ親しむ環境の構成が大事になる。ICT機器を使って情報収集すると簡単に答えがでる一方で過程が意識されにくい。
- ⑤ AIで読書感想文が作成できることもあり、読書感想文を書くという宿題は減っている。こどもが本を読む多様なアプローチを考えていく必要がある。
- ⑥ 本が少ない学校があるので、いろいろな本を読める環境を作してほしい。

**【日々の業務の中で充実感を得られていると感じる教職員の割合】（P17）**

- ① 教員の負担がとても大きかったが、最近は少しずつ改善されていると感じる。
- ② 教員は勉強を教え、保護者が生活面を見ることが大事である。そのため、教員と保護者が連携することが必要だと考える。
- ③ 教員のなり手が減少しているため、教員になりたいと思ってもらえるような職業にしてほしい。
- ④ 教員の充実感の向上につながるよう、教育委員会が現場の声を吸い上げ、それを国に対して意見として伝えていくことが重要である。
- ⑤ 内容を見ると、業務改善をすることが教員の充実感であるというように感じる。教員が本来の充実感を得られることが大事だと思う。

**【基本政策1全般】**

- ① 基本施策1の取組状況等について、全般的に順調であると感じた。目標指標を一つ一つ分けているが、実際の運用は協働して取り組み、成果が出れば良いと思う。

(2) 「基本施策 2 高等学校教育の充実」に関する意見

【呉高等学校に行かせてよかったと感じている保護者の割合】 (P19)

- ① 将来的には保護者だけでなく、生徒本人が行ってよかったと感じることが重要である。
- ② 保護者だけの意見でなく、保護者を通じて生徒の気持ちもこの数字には反映されていると思う。
- ③ たくさんの場所で、呉高等学校はいろいろなことに取り組んでいると聞くことがある。教員やPTAも学校を良くするために積極的である。

【年間 1 回以上ボランティア活動に参加した呉高等学校生徒の割合】 (P20)

- ① 呉高等学校の生徒が自分から考えて、進んで行動していると聞いている。
- ② 学校を通じて募集があったものだけでなく、個人的にボランティアに参加している生徒もいると聞いている。これからもさらに充実させてほしい。

【基本政策 2 全般】

- ① 呉高等学校の学校生活がとても充実している状況が確認できた。
- ② 引き続きいろいろなことに取り組んでほしい。

(3) 「基本施策 3 安全・安心な教育環境の充実」に関する意見

【小・中学校トイレの洋式化率】 (P21)

- ① トイレは日常生活で必ず使用するため、洋式化を速やかに実施することが望ましい。予算的に難しいと思うが、できる限り早急に取り組んでもらいたい。
- ② 校舎等の建替工事・長寿命化改良工事を行う場合は、全て洋式トイレを設置するとのことである。計画どおり進めてもらいたい。

【不審者情報を基に児童・生徒へ安全指導を実施した学校の割合】 (P22)

- ① 「呉こども 110 番の家」について、こどもたちにどのように伝えているのか。また、こどもたちが具体的に「呉こども 110 番の家」の場所を認識できているのか気になる。できるだけこどもたちには現地に行って場所を覚えてほしい。
- ② 不審者情報が多いため、こどもたちが少しでも恐怖を覚えたらすぐに「呉こども 110 番の家」に飛び込めるような環境を整備してほしい。

【自分が住む地域に起こりやすい災害について理解している児童・生徒の割合ほか】 (P25)

- ① 毎年小学校 1 年生向けに「ぼうさいダック（幼児向け防災教育用カードゲーム）」を活用した防災教育を実施してほしい。
- ② こどもたちに自分の身は自分で守るという教育をこれからも進めてほしい。

【基本政策 3 全般】

- ① 南海トラフ地震臨時情報が昨年 8 月に出された。そういった情報が出た際の学

校の対応マニュアルを作成していると思うが、しっかりと災害に備えた準備をしておいてもらいたい。

#### (4) 点検及び評価全般に関する意見

##### 【全般】

- ① 災害やデジタル，A I，国際問題といったことは日々動いている。そのような状況で，こどもたちの生活も変化してきている。教育委員会も柔軟に対応していくことが重要だと考える。
- ② こどもたちを大切にしていることが良く伝わった。
- ③ あらゆる事柄で，教育委員会が各校にしっかりと指導して欲しい。
- ④ トイレの洋式化・防災・タブレット端末等こどもたちのことをよく考えていることが伝わった。